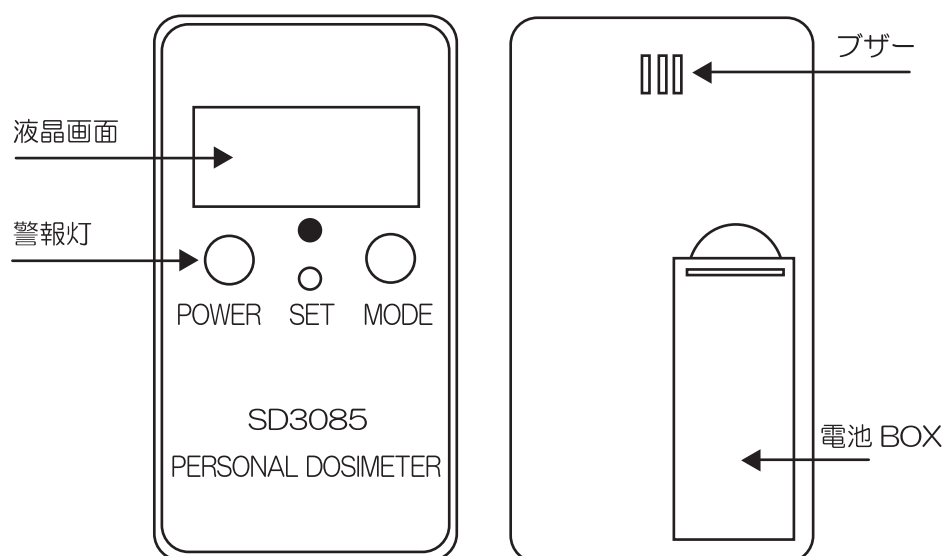


# 放射線測定器ガイガーカウンター SD3085 取扱説明書

- SD3085 は、X 線・ $\gamma$  線を測定することができます。
- 設定した測定値を越えた場合、内蔵されたアラームが警告音を発し、危険を知らせます。
- 本機は、国際基準の主な技術指標を満たし、中国における放射線局、税関、工業用非破壊検査 原子力発電所、原子力潜水艦、同位素応用や医療などの分野で幅広く使用されています。



## ■主な仕様

- ・測定範囲  
線量率：00.01  $\mu$ Sv/h  $\sim$  01.00mSv/h  
線量当量：00.01  $\mu$ Sv  $\sim$  99.99mSv
- ・測定間隔：5秒毎
- ・線量誤差： $<\pm 20\%$  (137Cs)
- ・検出器：GM管
- ・エネルギー応答： $<\pm 30\%$  (50KeV—1.3MeV)
- ・線量率応答：0  $\sim$   $\infty$
- ・アラーム値：線量率、線量当量の設定可
- ・アラーム：ピーという連続音と警報灯の点灯
- ・バッテリー電圧表示：バッテリー残量が少なくなった場合、測定を停止し、液晶画面に電力不足を表示します。
- ・電源及び消費電力：単三電池2本、
- ・温度範囲： $<\pm 10\%$  ( $-10^{\circ}\text{C}$ — $+40^{\circ}\text{C}$ )
- ・サイズ (mm)：118 (縦)  $\times$  65 (横)  $\times$  25 (厚)
- ・重量：ケースなし / 170g、ケース含む / 210g
- ・付属品：保護ケース

# 使用方法

1. 炭三電池を2個裏面に入れます。
2. 自動的にリセットされ、00.08  $\mu\text{Sv/h}$  を表示します。
3. 数秒後に『ピッ』という音とともに周囲にある放射線量を測定します。
4. 『MODE』キーを押すと、 $\mu\text{Sv}$ ・ $\mu\text{Sv/h}$ に切り替わります。

$\mu\text{Sv}$ は線量当量（マイクロシーベルト）

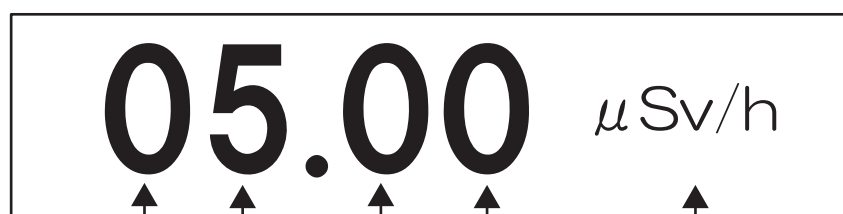
$\mu\text{Sv/h}$ は、1時間あたりの線量（マイクロシーベルト）

米1 mSv（ミリシーベルト）=1000  $\mu\text{Sv}$ （マイクロシーベルト）

## 5. アラーム値の設定

①線量率（初期値：5.00  $\mu\text{Sv/h}$ ）

『SET』ボタンを押し、『MODE』キーを押せば各位の数字を変更できます。

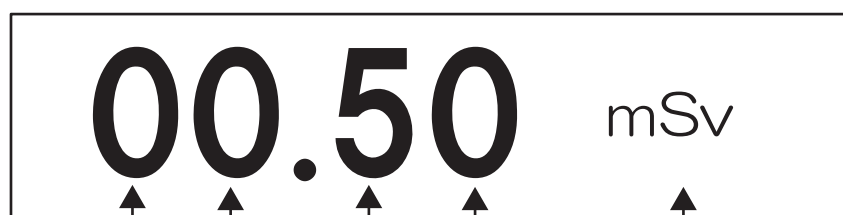


1回 2回 3回 4回 5回 『SET』ボタンを押す回数と変更箇所

『SET』ボタンを連続して押し続けると、ゆっくりと次の設定値変更箇所に移ります。

②線量当量（初期値：0.50 mSv）

『SET』ボタンを押し、『MODE』キーを押せば各位の数字を変更できます。



6回 7回 8回 9回 10回 『SET』ボタンを押す回数と変更箇所

③『SET』ボタンを11回押すと、サイレントになり、『MODE』キーでサウンド、またはサイレントを選択できます。（設定時、画面に数字は表示されません）

## 6. 設定完了後、『SET』キーを押すと元の状態に戻ります。

※性能改善のため仕様は予告なく変更されることがあります。（2011.06.18）